

1. 自動運転車導入事業

背景・目的

地域住民の移動機会が減少しないよう、新たな技術を積極的に取り入れ地域内に持続可能な移動サービスを導入し田原地域の活性を目指す。

取り組み内容

令和3年度

- ・自動運転車の実証実験に向けプレ走行実験を実施
 - ①受容性や運行ルートの妥当性を検証
 - ②移動支援サービスの理解醸成



たわらコネクタート

令和4年度

- ・自動運転車による移動支援サービス導入に向けた課題を把握するため、自動運転車と低速電気自動車の2種類のモビリティを活用した実験を実施
 - ①自動運転車の走行や自動運転技術に対する走行安全性および社会的受容性の検証
 - ②地域ニーズを考慮したサービス・事業性の検証

令和5年度

- ・車両選定のためのカートタイプとミニバスタイプ試乗体験(8月4日～14日)
- ・試乗体験の結果を踏まえ「カートタイプ」を選定
- ・ボランティアスタッフチームの発足
チーム名「たわらコネクタート(TCC)」 ボランティア登録数:約30人

令和6年度

- ・走行セレモニーの開催(5月16日)
- ・自動運転車の本格実装開始(5月22日～)
毎週水曜日及び第3土曜日に運行(5月:32人、6月:95人、7月:67人)
7月17日時点



購入車両:(7人乗り)ヤマハゴルフカート

走行セレモニーの様子



実施内容(令和6年秋から冬 1ヶ月間予定)

道路局:路車協調システムの実証実験

センサーorカメラ

自動運転車に
情報を送信

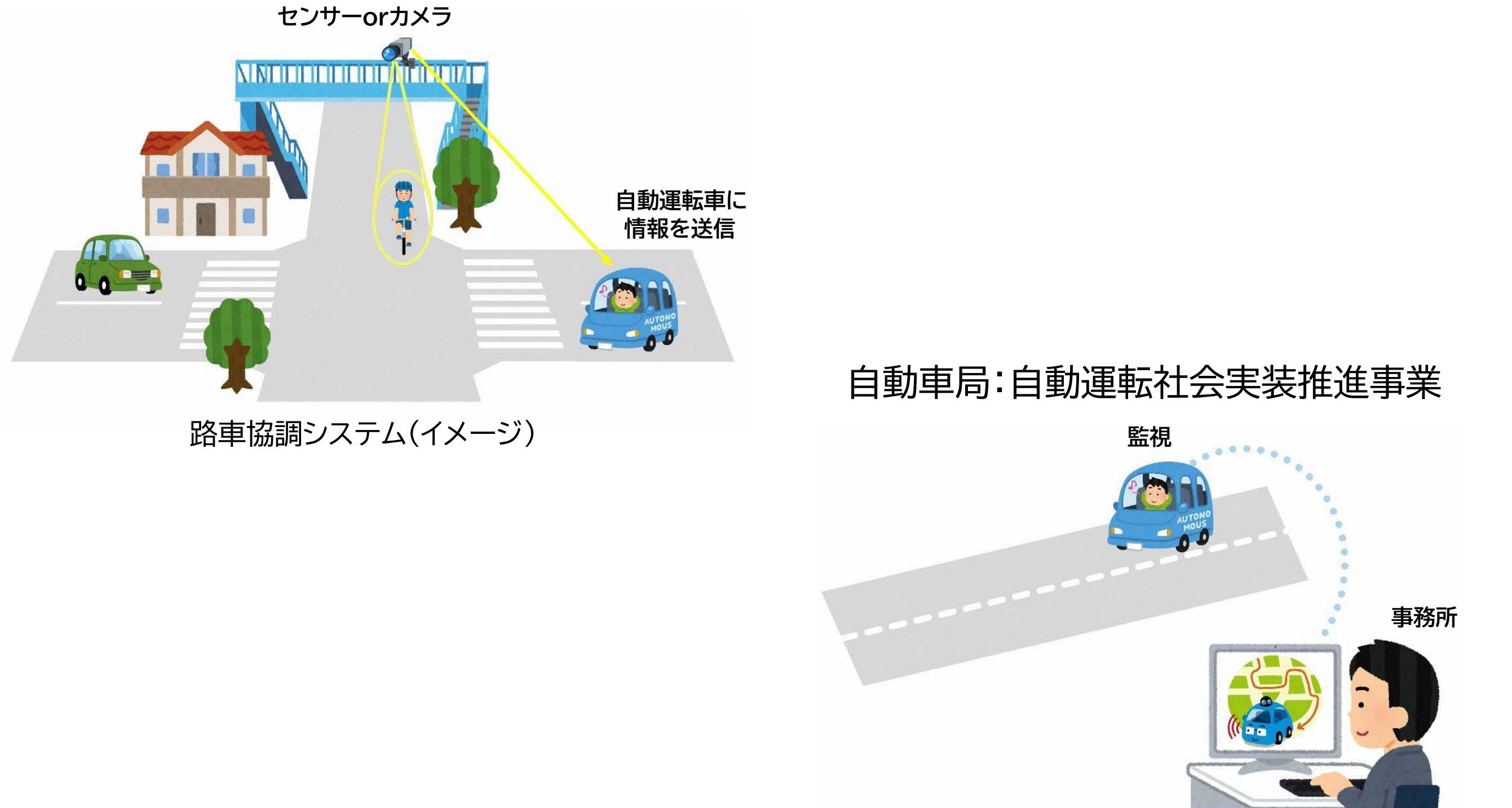
路車協調システム(イメージ)

自動車局:自動運転社会実装推進事業

監視

事務所

遠隔監視システム (イメージ)



2. 未利用地の有効活用協議事業

背景・目的

田原地域の中心地にある未利用地の有効活用策を土地所有者等の関係者と協議を重ね、地域住民の意見を取り入れた活用策を検討。

賑わい創出イベント

令和4年度

- ・キッチンカーイベント(10月 計4日間実施 1,169人参加)

令和5年度

- ・実証実験イベントの実施(10月) 845人参加
- ・実証実験イベント「たわらマルシェ」(令和6年3月)※雨天により中止

令和6年度

- ・実証実験イベント「たわらマルシェ」の開催
1回目:9月29日(日)10時~15時
2回目:12月8日(日)10時~15時
場所:田原台センター(雨天時はグリーンホール田原)
来場者数目標:各1,000人

参加予定(9月)

oyatsuya38、ココリエ、駄菓子屋てるちゃん商店、KITCHEN CAFÉ foo、しあわせの五韓料理たわら、株式会社グリーンファーム、nico_nico☆shop、わたしのいえ・ほっこり3510、mam and child、空とぶからあげ ほか



イベントの様子(令和4年度)



イベントの様子(令和5年度)

2. 未利用地の有効活用協議事業

背景・目的

田原地域の中心地にある未利用地の有効活用策を土地所有者等の関係者と協議を重ね、地域住民の意見を取り入れた活用策を検討。

公共空地等の未利用地・可能性調査業務について

令和5年度

- ・まちづくりに関する市民意識調査の実施(10月)
- ・田原地域の未来を考えるまちづくりワークショップの実施(10月～12月)
- ・企業へのヒヤリング調査(12月～令和6年1月)
- ・活用基本構想の策定(令和6年3月) 詳細はこちら→



活用対象地別のコンセプトおよび導入が期待される機能

対象地	コンセプト	導入が期待される機能	整備費の負担	運営・維持管理費の負担
対象地A	自然交流拠点	自然を活かした遊び場、キャンプ場	市+民間	市+民間
対象地B		緑地、花壇	市	市+ボランティア
対象地D	地域交流拠点	乳幼児用室内遊び場、学生の放課後学習スペース、地域住民交流のためのフリースペース	市	市+民間

令和6年度

- ・地域活動拠点に関するワークショップの実施
「グリーンホール田原」についての意見交換
日時:9月14日(土)午後2時～5時(予定)
場所:グリーンホール田原 なるなるホール

- ⇒議題について
- ・現状の課題
 - ・コミュニティ活動拠点の将来像
 - ・グリーンホール田原の利活用 など

対象地A



対象地B



対象地D

